

用途廃止施設の有効活用に向け 公民連携による

参加事業者を募集！

サウンディング型市場調査をモデル実施します。

横浜市では、平成22年3月に「横浜市資産活用基本方針」を策定し、その中で、役割を終えた公共施設（用途廃止施設）の活用にあたっては、案件に応じて多角的な視点で検証を行うこととしています。

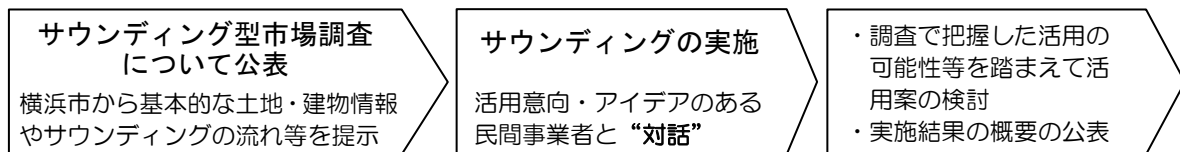
今回新たな試みとして、平成23年4月に閉校となった旭区旧ひかりが丘小学校の土地・建物について、**民間事業者との“対話”**を通して、**検討の早い段階で、市場性の有無や活用のアイデアを調査する「公民連携によるサウンディング型市場調査」**をモデル的に実施します。



※ サウンディング型市場調査とは、市有地等の活用の検討にあたって、その活用方法について民間事業者から広く意見、提案を求め、対話を通して市場を把握する調査のことです。

1. サウンディングへの参加事業者の募集

調査対象となる旧ひかりが丘小学校の土地・建物に関する基本的な情報や、サウンディングの流れ等を示した**実施要領(裏面参照)**を公表し、**サウンディングへの参加事業者を募ります。**



2. サウンディング参加事業者説明会及び現地見学会の実施

「公民連携によるサウンディング型市場調査」の実施方法について、**参加希望事業者向けの説明会及び現地見学会を開催**します。(事前申込制、HP参照)

日時：平成23年9月13日(火) 午前10:00開始

場所：旧ひかりが丘小学校(旭区上白根町1306-14)

[<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/pre/>]

3. サウンディングのスケジュール(予定)

平成23年 9月13日(火)

参加事業者向け説明会及び現地見学会の開催

9月14日(水)～27日(火)

サウンディング参加の申し込み

9月28日(水)～10月5日(水)

サウンディングの実施(民間事業者との対話)

4. サウンディングでの対話内容(概要)

(1) 旧ひかりが丘小学校の土地・既存建物を活用して展開できる事業アイデア

以下の可能性も含めた提案

① 既存建物内の保育所については、既存建物内又は敷地内でのスペース確保

② 既存建物内のコミュニティハウスの機能については、既存建物内でのスペース確保

(2) (1)の条件による活用が困難な場合は、土地や既存建物について、どのような活用が検討できるか

(3) 当該地やその周辺環境にふさわしいと考える、地域貢献の取組等のアイデア

等

実施要領等については、

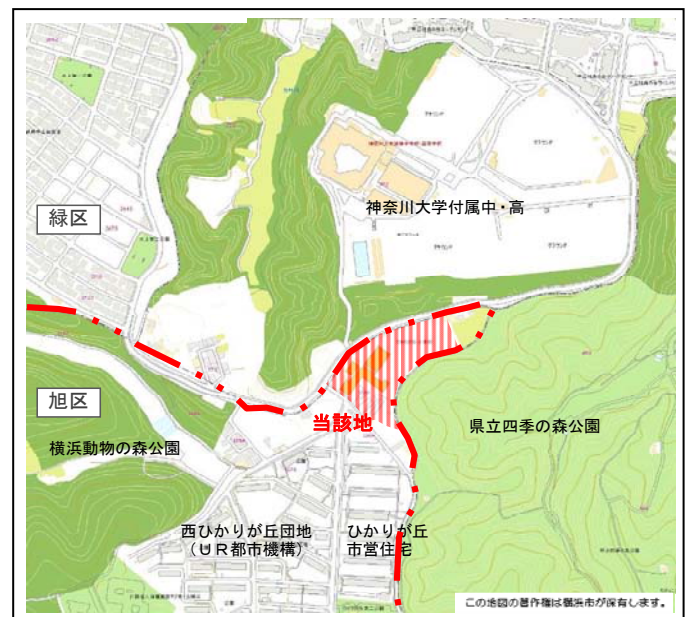
<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/kyoso/pre/> で公開しています。

5. サウンディングの効果

活用の検討の早い段階で、民間事業者の「土地・建物の活用の可能性」を調査することで、活用方法について**幅広い検討が可能**になります。また、地域の状況や行政課題を提示して“対話”をすることで、課題の解決に向け、**民間事業者のノウハウを生かした活用案の検討が可能**になります。

6. 対象土地・建物

所在地	横浜市旭区上白根町 1306-14
土地面積	約 13,560 m ²
都市計画	市街化調整区域 建ぺい/容積率 50/80%
建物概要	校舎：構造 RC造 地上4階建 高さ 14.53m 延床面積 約 6,500 m ² (うち体育館 約 650 m ²) 保育所：校舎1階部分 床面積 約 300 m ² コミュニティハウス： 校舎1, 3階部分 (4教室)



お問い合わせ先

[サウンディングの実施について]	政策局共創推進室共創推進課担当課長	矢野 徹	Tel. 045-671-4395
[土地・建物について]	財政局管財部資産経営課長	高澤 和義	Tel. 045-671-2198